

徳島県特別活動小中連携研究指定校事業

**OUR徳島特活小中連携いきいき事業
～西部エリア～**

徳島県教育委員会

OUR徳島特活小中連携いきいき事業について

9年間の義務教育段階を見通した特別活動の指導の在り方について中学校区を実践研究モデル地域に指定し、モデル地域の小学校と中学校が連携し、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、児童生徒の「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に係る資質・能力を育成する。



あふれる笑顔 輝く夢 いきいきした学び

年間アドバイザー

杉田 洋（すぎた ひろし）

國學院大学 人間開発学部 初等教育学科 教授

前文部科学省初等中等教育局 視学官

日本特別活動学会 理事

全国特別活動学会 顧問

特別アドバイザー

清水 弘美（しみず ひろみ）

学校法人八王子学園なかよし幼稚園 園長

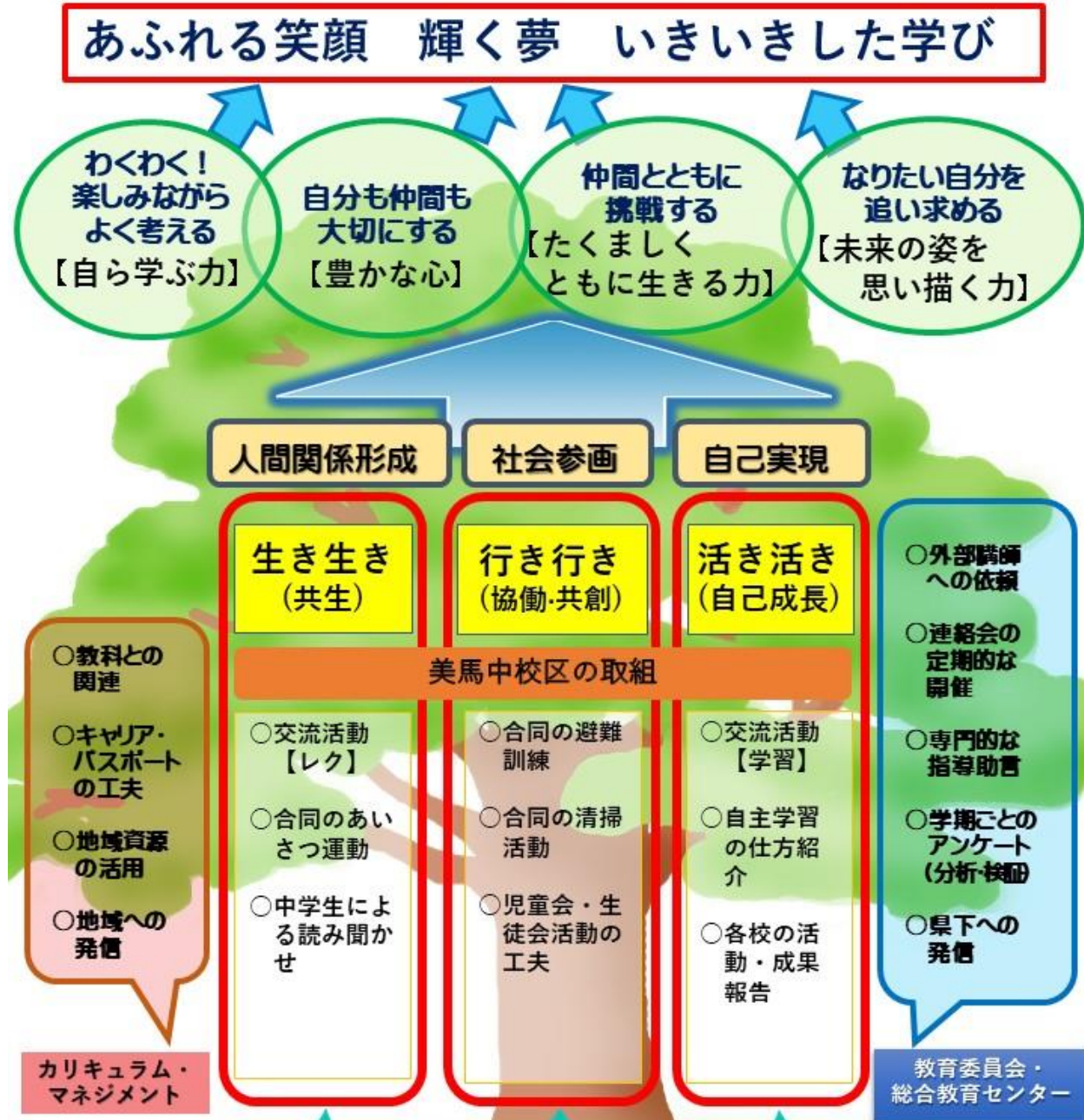
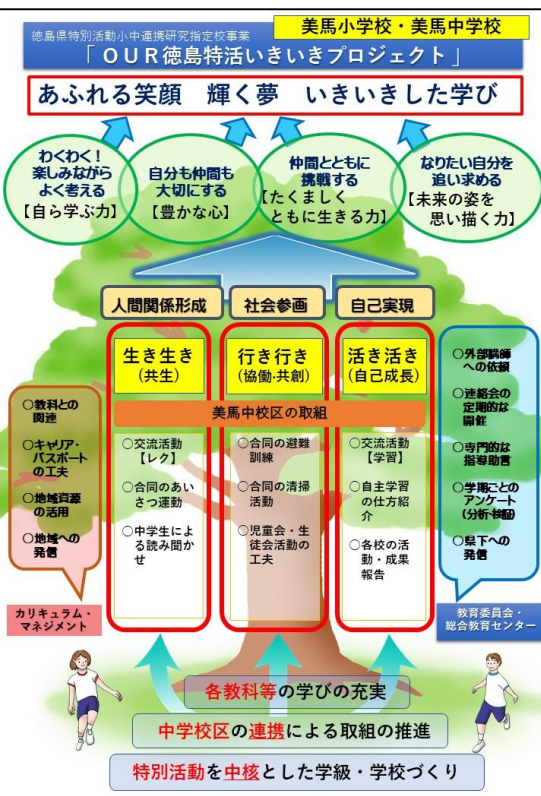
創価大学 非常勤講師 （特別活動論の指導）

東京都八王子市立浅川小学校元校長

全国学校行事研究会元会長

全国道徳特別活動研究会元副会長

令和4年度研究構想図



令和4年度 第1期研究会

令和4年7月1日(金)

美馬小学校：公開授業

美馬中学校：公開授業

合同：交流活動「中学生とのハッピー交流会」

取組発表「これまでの取組と今後の計画」

美馬小学校4年2組と美馬中学校1年2組の交流活動の様子



取組発表・講話の様子



令和4年度 第2期研究会

令和4年11月24日(木)

美馬小学校：公開授業（学級活動 全学級の半数以上）

研究授業（学級活動（1）6年2組）

「美馬中3年2組の受験を応援する

プレゼントをおくろう」

美馬中学校：公開授業（学級活動）

小学校の学級活動の様子



中学校の学級活動の様子



6年2組「美馬中3年2組の受験を応援するプレゼントをおくろう」

令和4年度 第3期研究会

令和5年1月30日(月)

美馬小学校：公開授業（学級活動 全学級）

美馬中学校：公開授業（学級活動 全学級）

研究授業（学級活動（1）2年2組）

「2年2組最後のレクリエーションを

みんなで考えて実行しよう」

小学校の学級活動の様子



2年2組

「2年2組最後のレクリエーションを
みんなで考えて実行しよう」



中学校の学級活動の様子

令和5年度研究構想図



令和5年度 第1期研究会

令和5年7月14日(金)

美馬小学校：公開授業（学級活動（1）全学級）

研究授業（学級活動（1）3年1組）

「夏祭りをしよう」

美馬中学校：公開授業（全学級が学級活動（1））

小学校の学級活動(Ⅰ)の様子



中学校の学級活動(Ⅰ)の様子

令和5年度 第2期研究会

令和5年9月19日(火)

美馬小学校：公開授業（学級活動（Ⅰ）全学級）

美馬中学校：公開授業（学級活動（Ⅰ）全学級）

研究授業（学級活動（Ⅰ）1年2組）

「美馬中学生徒生活心得を見直そう！」

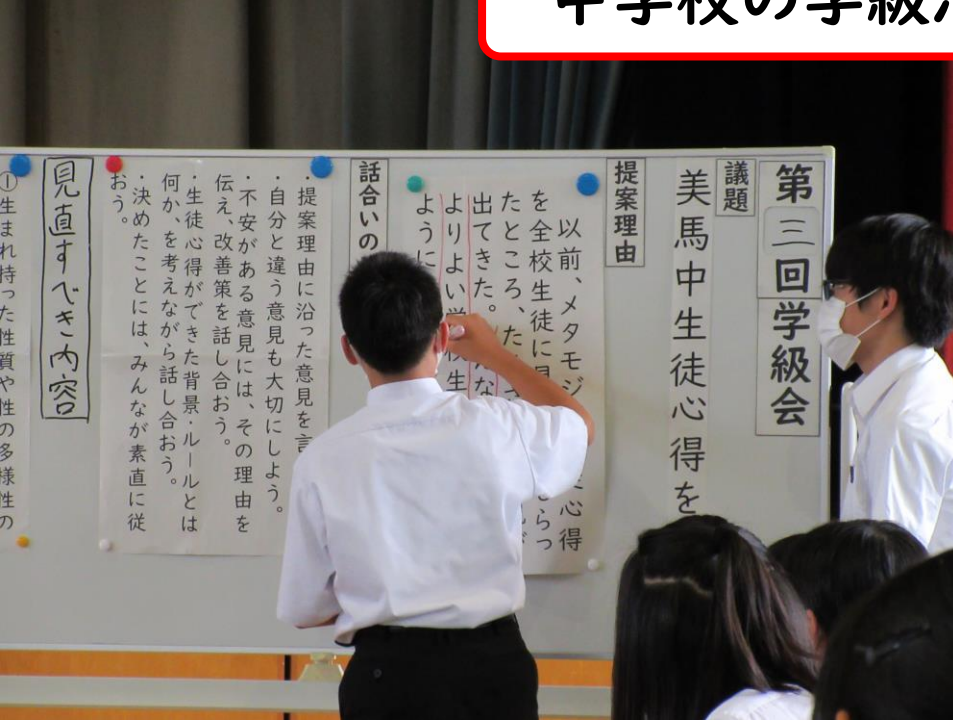


小学校の学級活動(Ⅰ)の様子





中学校の学級活動(Ⅰ)の様子



令和5年度 第3期研究会

令和5年12月1日(金)

美馬小学校：公開授業（学級活動（Ⅰ）全学級）

美馬中学校：公開授業（学級活動（Ⅰ）全学級）

合同：成果報告



小学校の学級活動(Ⅰ)の話合いや実践





中学校の学級活動(Ⅰ)の様子



成果と課題について

～教職員の自由記述より～

成果

児童生徒

- ・学校を楽しんでいる児童生徒が増え、学校がより明るくなったように感じる。
- ・児童生徒がいきいきして活動する姿をよく見かけるようになり、学校全体として活気が出てきた。
- ・児童生徒がいろいろなことに前向きに挑戦しようとする姿が増えた。
- ・理由をつけて自分の考えを話すようになり、発表の声も大きくなってきた。
- ・進行、フロアが役割を自覚し、話し合い活動が停滞することなく進むようになり、つながる発言も多くなって建設的な話し合いもできるようになった。
- ・特別活動を中心にして、児童生徒主体の話し合い活動を踏まえて行事をしたり、生活心得の見直しができたりした。
- ・コロナ関連の経験も踏まえ、精選された工夫のある交流会や行事等ができた。

成果

教師

- ・授業や普段の関わりの中で、児童生徒に任せる場面や発言を待つ場面を意識するようになった。
- ・特別活動への意識や授業の進め方、指導方法がわかってきた。
- ・教師自身の知識やスキルが向上した。
- ・学校全体で、児童生徒の発言を引き出すようになった。
- ・児童生徒が主体的に活躍できる場を考えて、機会を設けるようになった。

課題

- ・相手を納得させるように伝える、話す力をさらに向上させる必要がある。
- ・異動で職員が入れ替わっていく中で、教育課程、学校行事等とのバランスを取りながら、学んだことを共有・継続していく。
- ・深まりのある話し合いへの導き方や議題の立て方等を検討する。
- ・指定を受けたことで学校の取組の柱にできたが、今後どのようにして成果を持続していくか考えていかなければならない。
- ・話し合い活動を他教科でも活かし、相乗効果につなげられるようにする。
- ・日常的に話し合いはできるようになったので、創意工夫を生かし、意見をつなげていくような深い話し合いへの転換が必要である。
- ・話し合いへの参加が難しい児童生徒への支援・手立てをさらに学ぶ。
- ・学級活動の時間や職員での共通理解の時間を確保する。

2年間の事業を終えて

- ・話し合い活動の型がわかったので、今後はそれを校種、学級の状況等に合わせ、アレンジしながら効果的な話し合い活動が実践できるようにしたい。
- ・本年度、異動して取り組んだが、小学校からよく練られていて中学校での話し合いもスムーズにできたので、継続して取り組んでいきたい。
- ・持続可能な取組を行っていく中で、「選ぶ」話し合いから「生み出し・創り上げる」話し合いへとさらに発展させたい。
- ・中学校では話し合い活動を年間計画で設定する必要がある。